

事務事業名		庁舎施設整備事業_大東		所属部	総務部	所属課	管財課
総合計画 画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名	井上芳樹
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	深田貴之	電話番号	0854-40-1025
	目的:対象	行政機能	意図	公平で効率的なサービスを提供する。		(内線)	2371
	基本事業名	〈015〉市民に親しまれる窓口サービスの提供		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	庁舎施設整備事業	
目的:対象	行政機能	意図	市民に親しまれる窓口をつくる。		項 目 中事業 中事業名	庁舎施設整備事業	
					0 1 1 0 0 7		
					0 5 3 0 0 1		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (29 年度 ~ 30 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
大東総合センター庁舎の老朽化に伴い、平成26年度策定の「総合センター庁舎の整備方針」をもとに移転の検討を行い、移転後の利便性と住民理解、移転経費の点から移転先を大東健康福祉センターとした。 平成29年度設計、平成30年度工事。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)			
		<工事請負> ・建築主体工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・外構工事 ・その他工事 <業務委託> ・設計、監理	なし			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア					
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	大東総合センター施設	ア 改修面積	m ²			347	
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
市民が使用しやすい施設を整備する。	ア 進捗率	%		2.0	100.0		
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
○委託料	1,863千円	事業費	国庫支出金	千円				
○工事請負費	65,265千円		県支出金	千円				
○負担金	2,310千円		地方債	千円		1,100	61,600	
○補償	676千円		その他	千円			8,100	
○その他	1,061千円		一般財源	千円		88	1,475	
	71,175千円		事業費計(A)	千円		1,188	71,175	
		人件費	正規職員従事人数	人		1	2	
			延べ業務時間	時間		243	1,267	
			人件費計(B)	千円		991	5,489	
			トータルコスト(A)+(B)	千円		2,179	76,664	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
総合センター整備方針に基づき、既存公共施設への移転により整備する。	平成26年度に総合センター整備方針を策定した。	議会、地元住民より移転の了承を得ている。

事務事業名	庁舎施設整備事業_大東	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	既存市有施設を改修するため、これ以上の向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	行政サービスを継続するうえで、庁舎整備は不可欠
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？				
D 公平性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由	行政サービスを継続するうえで、庁舎整備は不可欠	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		既存市有施設を改修するため、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	必要最小限の人員で行っており、これ以上の削減は不可能。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	行政サービスを継続するうえで、庁舎整備は不可欠
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
① 1次評価者としての評価結果				
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
② 1次評価結果の総括(根拠と理由)		移転計画に基づき適切に事業を実施した。		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																